



講義風景 キーンズランド大学 熱心に質問する学生 シュノーケリング

オーストラリア・キーンズランド大学サマー環境スクール 2012 年のお知らせ

2012 年 8 月に、環境スクールを、オーストラリアのキーンズランド大学にて実施されます。この環境スクールは、2002 年 8 月キーンズランド大学と四日市大学が始めたプログラムです。内容が充実しているため聖学院大学政治経済学部はこれをインディペンデントスタディ科目に加えています。

このプログラムは、西オーストラリアに滞在しながら、自然環境・社会に触れ、人々の行動を知るだけでなく、キーンズランド大学内外の研究者や市民から環境・社会についての研究や方法論および実践活動の在り方等を学ぶ内容として構成されたプログラムとなっています。訪れるキーンズランド大学はオーストラリアのトップクラスに入る大学であり、1909 年に設立された歴史のある大学です。社会や産業界に多くのリーダーとなる卒業生を送り出し、現在 30,000 人を越える学生が在籍しています。

素晴らしい海外の大学環境を味わいながら、オーストラリアの自然にもふれ、環境や社会を勉強し、市民との交流を試みませんか！

ご参加を待っています。

サマー環境スクールの概要

1.期間 2012 年 8 月 20 日(月)～
9 月 1 日(日)

2.費用 約 40 万円 (航空運賃、授業料、宿泊料:二人づつキーンズランド大学提供のホストファミリー宅に宿泊等を含む。)

3.内容 :午前中;英語特訓(45 分)、ブレイク(15 分)、
環境諸問題に関する英語による講義 (45 分) 四日市大学新田義孝教によるサポート
午後;実地見学、大学生や市民との交流

主要講義と関連見学の概要:クリーナープロダクションの講義と工場見学を行います。クリーナープロダクションとはエネルギーと資源を節約し、経済活動に於ける全ての環境に配慮しながら経済的利益の効果を上げることです。メッキ塗装工場、食品工場、ビール工場などを見学して、講義内容の理解を深めます。日本では国連大学がゼロエミッションという概念を提案していますが、それを工場などに適用して、省資源・省エネルギーを通して経済効果も出そうという実践活動です。

その他の校外授業(活動):自然・動物保全地(コアラ生息地他)の見学、日・豪土壌改良共同プロジェクトサイトの見学、ブリスベーン市のコミュニティ市民ボランティア環境保全活動やブリスベーン収穫祭に参加し地元市民との交流をはかります。

1.成田国際空港発着(空港集合・解散。)

2.教員は四日市大学から一名が同行する。(参加学生は聖学院大学の他にも加わる可能性あり。)

3.その他 各自航空運賃以外の必要費用を外貨(オーストラリアドル)に換えて、旅行小切手で持参する(オーストラリアの場合、現金で換えるとレートが不利になる)。また、パスポートは 2012 年 8 月 20 日時点で有効期間が 6 ヶ月以上あるものとする。



関心・興味のある人には昼休みに説明をします:21 日(月)・23 日(水)2109 教室、25 日(金)2105 教室

(担当:政経学科・秋吉;8 号館 8615 研究室、コミュニティ政策学科・竹井;8712 研究室)